

再使用禁止

パワースコープ

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・ニッケル等の成分に対し発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には、使用しないこと。
- ・使用状況により脱落・破折・変形・作動不良が起こる場合がある。その際はただちに歯科医師の診断を受けさせること。

【形状・構造及び原理等】*

本品は、次の原材料で構成する。
・本体(右用/左用):ニッケル、チタン、ステンレス鋼
・クリンパブルシム(1mm/ 2mm/ 3mm):ステンレス鋼

(構造等)

本体



2型

専用六角ドライバー



——— マグネット
スリーブ

〔六角ドライバーの回転方向〕



右用

左用

右用：上下顎とも、左回しで締める
左用：上下顎とも、右回しで締める

【使用目的又は効果】

バネ状で矯正力を発生させるために用いること。

【使用方法等】

パワースコープの装着

※使用に先立ち、六角ドライバーを滅菌する。滅菌方法:オートクレーブ滅菌(132℃、5～10分)

- (1) パワースコープは、ステンレス製のサイズ.017×.025(装着しているブラケットがスロット.018の場合)、.019×.025(装着しているブラケットがスロット.022の場合)のワイヤーとの使用を推奨する。
- (2) チューブカップとロッドカップにおいて、スクリューの先端がナットより飛び出していないことを確認する。
- (3) 専用の六角ドライバーを用いて、パワースコープを上顎の第一大臼歯近心側のアーチワイヤーに引っ掛ける。
- (4) スクリューを締める。(右用と左用では締める際の回転方向が異なる。右用は左回し、左用は右回しで締める。)
- (5) 六角ドライバーを用いて、パワースコープを下顎の犬歯遠心側のアーチワイヤーに引っ掛ける。
- (6) 上顎同様に、スクリューを締める。
- (7) スペースを調整するときは、適切なサイズのクリンパブルシムを取り付ける。

パワースコープの取り外し

- (1) パワースコープを取り外すときは、まず下顎から、締めたときと反対の方向に回転してスクリューをゆるめる。
- (2) 次に上顎も同様の手順で取り外す。
※このときも専用の六角ドライバーを用いること。
※六角ドライバーは再滅菌することにより、繰り返し使用が可能である。
※六角ドライバーはマグネットスリーブをつけた状態で使用すること。

【使用上の注意】**

1) 使用注意

- (1) 推奨サイズより細いワイヤーを使用すると、本品が傾いてしまう場合があるため、推奨サイズ以上のものを使用すること。*
- (2) 歯ぎしりの強い患者等、本品に力が掛かる可能性がある場合は使用しないこと。
- (3) 患者の下顎の中切歯・側切歯が傾斜しているときは、この装置の使用によりさらに傾斜してしまうおそれがあるため、注意すること。
- (4) 下顎の歯列弓は、下顎前歯の前方傾斜の増大や犬歯の遠心側にスペースができてしまうことを防ぐため、固定すること。
- (5) 下顎前歯のブラケットはマイナストルク(-6から-10)のものが望ましい。
- (6) 用する前に変形等の異常がないか確認し、異常がある場合には使用しないこと。
- (7) マグネットスリーブは、150℃以上に加熱すると磁力が低下するので注意すること。

2) 重要な基本的注意

- (1) ナット及びクリンパブルシムの脱落に注意すること。本品を装着するとき誤った方向へ回転させるとナットがゆるんで脱落し、誤飲・誤嚥の原因となる。施術の際は細心の注意を払って行い、定期的にスクリューのゆるみがないか、確認すること。又、患者には、診療後にも脱落があり得ることを説明しておくこと。誤飲・誤嚥が起きたときは、ただちに適切な病院にかかるよう伝えておくこと。
- (2) 本品の使用により発疹などの過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- (3) 本品については、試験によるMR安全性評価を実施していない。**

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売：株式会社バイオデント
電話番号：03-5604-0980
FAX番号：03-3801-7560
輸入先国名：アメリカ合衆国
製造業者：American Orthodontics
アメリカンオーソドンティックス

取扱説明書を必ずご参照ください。



取扱説明書

管理 認証番号 228AGBZX00075000

はじめに

パワースコープ2はチェアサイドで簡単に装着できるように一体型デザインを採用しており、ナットもあらかじめセットされています。



上顎第一大臼歯の近心側と下顎犬歯の遠心側にそれぞれナットを装着します。



マグネットスリーブについて

※マグネットスリーブは金属製のものに近づけないようにしてください。

- ① マグネットスリーブを金属製以外の平らな場所に置きます。このとき、円錐状のくぼみがある開口部が上を向いているようにしてください。
- ② 専用の六角ドライバーをスリーブの上で持ち、ドライバーの先端を開口部の中心に向けながら近づけてください。
- ③ 磁力によってマグネットスリーブがドライバーの先端にくっきます。



マグネットスリーブ

装着方法

- ① パワースコープ2をワイヤーにはめ込む前に、スクリーウの先端がナットより飛び出していないことを確認してください。(画像A&B)
- ② ドライバーを上顎用のパワースコープ2のスクリーウヘッドに当ててください。(画像C)
- ③ ステンレスアーチワイヤーを装着した上顎第一大臼歯の近心側に、パワースコープ2を装着してください。(画像D)

・推奨するワイヤーはステンレス製の.017×.025 (.018 スロット)、または.019×.025 (.022 スロット) です。推奨サイズより細いワイヤーを使用すると、本品が傾いてしまう場合があるため、推奨サイズ以上のものを使用してください。ナットに指を添えることで、スクリーウを締める際に安定させることができます。

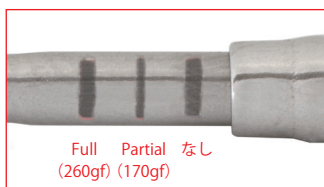
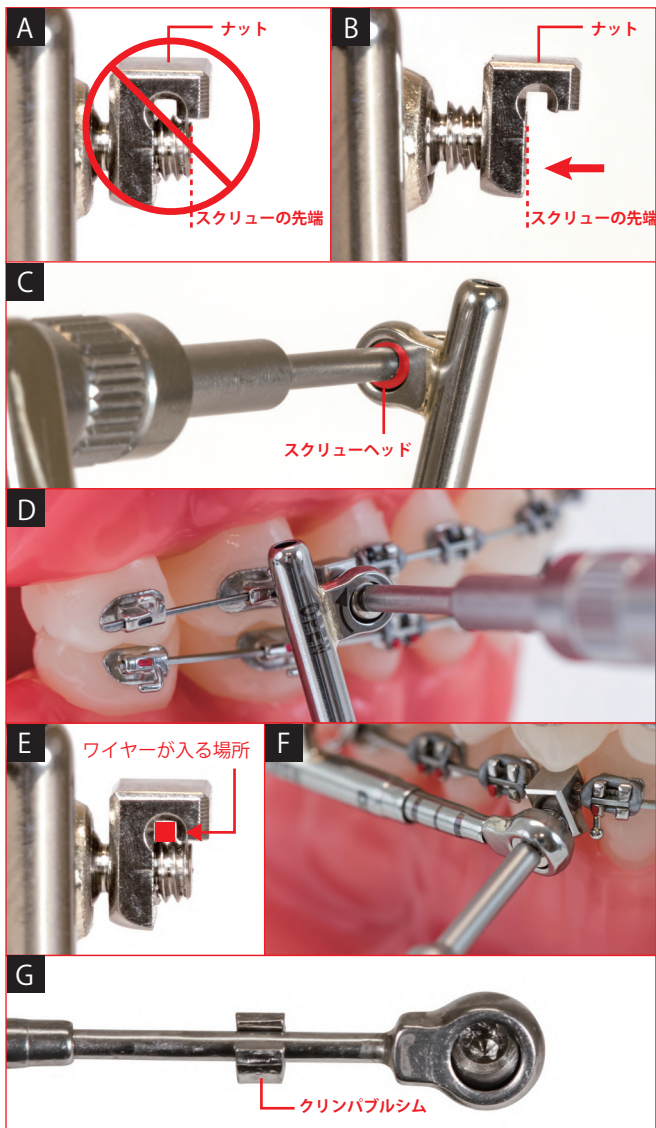
・右用は逆ねじ（左回しねじ）になっています。右用の装置はスクリーウをゆるめるときの方向が矢印で示されています。

※ナットがパワースコープ2装着時にワイヤーを固定してしまうことはありません。ワイヤースペースに入った状態が正しいセット方法です。(画像E)

- ④ 下顎は、ドライバーを用いて犬歯の遠心側に装着します。下顎のワイヤーの上に装着し、スクリーウを締めてください。(画像F)

・クリンパブルシムを併用することで、よりアクチベーションを強め、治療を進めることができます。(画像G)

・クラスIIの度合いによって、また歯列弓のサイズによっては、始めからクリンパブルシムが必要となる場合があります。



2mmの間隔で3本のアクチベーションインジケーターがあります。

ヒント

- ・下顎の中切歯・側切歯が傾斜しているときは、装置の使用によりさらに傾斜してしまうおそれがあるため、注意してください。
- ・下顎の歯列弓は、「下顎前歯の前方傾斜」と「犬歯の遠心側にスペースができること」を防ぐため、次のいずれかの方法により固定させてください。
 - ▶下顎アーチワイヤーのシンチバック
 - ▶下顎アーチ全体のエラスティックチェーン
 - ▶臼歯部ワイヤーにアーチロック・ストップ
- ・下顎前歯にはマイナストルクのブラケット（-6 から -10）の装着をおすすめします。
- ・下顎犬歯に関しては、治療中のローテーションを防ぐためにステンレスのリガチャーを使用することをおすすめします。

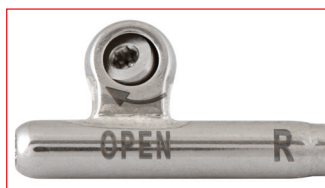
装着位置



右側



左側



右用の装置には『R』のID マークがあります。『OPEN』の文字と矢印の向きで、スクリューの回転方向を確認してください。（逆ねじ）



左用の装置には『L』のID マークがあります。

取り外し方法

- ① まず下顎から、ナットがワイヤーから外れるまでスクリューをゆるめてください。
- ② 同様の方法で上顎のスクリューをゆるめてください。
- ③ 患者様の口腔内から装置を取り外してください。

本品の使用にあたっては添付文書もお読みください

第2版 2017年1月

製造販売



美しい歯ならびをクリエイトする

株式会社 バイオデント

東京都荒川区西日暮里2-33-19 YDM日暮里ビル

TEL 0120-49-0980

TEL 03-5604-0980/FAX 03-3801-7560

URL <http://www.biodent.co.jp/> E-mail info@biodent.co.jp

AO AMERICAN
ORTHODONTICS

3524 Washington Avenue Sheboygan, Wisconsin, 53081-1048 USA

Email: info@americanortho.com web: www.americanortho.com